

Case 2

■ 聖隷三方原病院

大石 佐奈美 さん

看護師経験:27年
(クリティカルケア認定看護師)

特定行為取得区分

呼吸器(気道確保に係るもの)関連
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連
創傷管理関連
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
外科術後病棟管理領域パッケージ

※特定行為研修修了者+認定看護師の場合は「特定認定看護師」と呼称します。

受講の動機・きっかけは …

以前、心臓血管外科医と人工呼吸器からのウイニングのプロトコルを作成し、離脱支援を実施したことを看護研究で報告したことがあります。当院は年間100例開心術があり、手術の帰室は準夜勤になることが多く、医師は覚醒したら早期に抜管したいのですが、自分が常に勤務しているわけではなく、早期抜管のためのスタッフ教育について悩んでいました。認定看護師が特定の研修を受講する意味があるのか?と感じていましたが、認定看護師が受講することで教育体制のベースラインが維持できる。看護の

質の維持になる!と考え、自分の役割は実践というより指導者として発揮することだと思って受講することにしました。



救急外来で働く特定認定看護師 村松武明さん

救急外来で点滴された患者さんに看護師が手を握る。
看護師だからこそできる行為!



特定看護師さんのバッジ



「看護の日」キャラクター
(静岡県) かんごちゃん

やりがいとは …

これまで看護師としての主観が先立ち、医師の治療に悶々とすることもありましたが、しかし、特定看護師の研修により、医師の倫理観も勉強することで、ターミナル期に積極的治療する倫理観も理解できるようになりました。また、多職種でのカンファレンスの時に、特定行為研修で臨床推論や倫理的な考え方を（医学的視点から）学んだことで、積極的に発言できるようになったことがやりがいに繋がっています。

病棟の中で特定看護師が増え、タスクシフトが進むとできるだけ患者さんの生活に合わせた時間で処置が実施でき、医師からの必要な医療提供ができると思います。



現在の業務内容は …

ICU8床をもつ外科病棟に配属されています。当院は、緊急入院に対応する救命救急センター内のICUと、予定の大手術の術後管理する院内ICUがあり、私は院内ICUの方で働いています。仕事の内容は、通常通り患者の受け持ちをしながら、指示がでたら特定行為を実施します。処置後の確認や観察はペアの看護師と2人で行っています。普通に夜勤業務もしていて、その方が動きやすいです。

認定看護師としての活動日は月に4日です。

院内ICUの看護スタッフは20名で、すべての勤務に特定看護師が在中できるように10名は必要と看護部長には伝えています。3交代でいつでも対応できることを目標にしています。



院内ICUで働く大石佐奈美さん



特定認定看護師の村松さんとERの看護師たち

Schedule



ある1日の私の動き

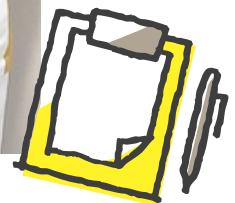
8:00	8:30～8:45 情報収集	13:00	13:30～ カンファレンス
	8:45～9:00 申し送り		14:00～ 検温、ICU退室患者対応、
9:00	9:00～11:30 検温、保清、リハビリテーション、ICU退室患者対応、術後受け入れ準備など		14:00 術後患者対応
10:00	11:00～ 早期栄養カンファレンス（医師、栄養士、薬剤師）		心臓血管外科の開心術後の患者が入室した場合、特定行為（人工呼吸器の設定変更、人工呼吸器からの離脱）を、患者を受けもちながら行います
11:00	受け持ち人数や仕事量に余裕がある場合、9:15～消化器外科病棟の回診について回り、特定行為があれば、具体的指示で特定行為を行います	15:00	
12:00	交代で昼休憩	16:00	16:00 in.out バランス×時間
			16:45～ 申し送り
		17:00	

後輩看護師へのメッセージ

看護師をしている皆さんも、自分の力不足を感じたことが一度はあると思います。そんなときに新たに勉強するいい機会であると思います。経験を積んだ看護師が勉強することで、患者さんを思い浮かべながら学習の効果が高くなると思います。やれる機会があるのであれば、やった方(研修を受講した方)がいいと思います。看護師としてステップアップする良い機会だと思います。悩んでいると年をとってしまうので、是非、興味があったらやってみたら良いと思います。



特定行為研修関係者



趣味は…

ドライブ!



犬のアジリティー。犬(シェリーちゃん、女の子)と一緒に走ったり、ハードルを越えたり…等
好きな食べ物: 餃子



聖隷三方原病院の組織ビジョン

松下看護部長

- ・看護師のフィジカルアセスメント力の向上
- ・地域で活用される看護師の育成と地域連携の推進

《特定行為研修の取り組みを開始した理由》

組織ビジョンと特定行為研修が合致していたので、看護部長に就任後直ぐ準備に着手しました。若いスタッフに学びやすい環境をつくるという病院方針とも合致し、事業部計画にも入れ2020年開講することができました。

特定看護師は取得した区分が実践しやすい職場に配属しています。当院では、専門・認定看護師も現場配置をモットーにしています。それは専門・認定看護師の手が患者さんに直ぐ届くところにあって欲しい!という考えからです。特定行為は、看護師ができる仕事になったのだからあまり特別感を出してほしくないとも思っています。通常の看護の幅が広がれば、患者さんの治療や生活に合わせ早く対応でき、医療の質があがります。特定看護師の育成は、何をしたいかが重要であり、その後に繋がっていくことが大切だ



看護部長と特定行為研修責任者

と思っています。看護師は患者を24時間みる、それは看護師の役割です。しっかり観察して、正しく報告し、適切な医療・ケアにつなげる。24時間をつなぐ責任ある仕事だからこそ、看護師が24時間を守る!という気持ちを持ち、力をつけ自信を持って看護をして欲しいと思っています。

目標:10年で100人を養成(いつでもどこにも特定看護師がいる)



「看護の日」キャラクター
(静岡県) かんごちゃん